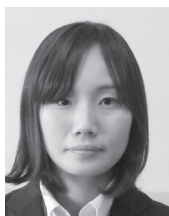


フレッシュ先生

子どもたちの 笑顔のために

南区 大谷場小学校
教諭 佐藤 夕貴奈



「機関研修の研究授業者を」と声を掛けられた時は、やってみたいと思う気持ちとできるのかという不安が入り混じっていた。校長先生をはじめ、指導主事、学年の先生、多くの先生方から御指導をいただき、支えていただいたおかげで、授業の日を迎えることができた。当日は、子どもたちは緊張しながらも、一生懸命授業についてきてくれた。課題もたくさんあったが、子どもたちのために精一杯分かりやすい授業をつくる大切さを学んだ。

今までは、子どもたちの反応やつまずきについて浅くしか考えていなかったことに気付くことができた。1つの授業を多く



の時間を使って作り上げる経験から、「この発問をすればこんな答えが返ってくるだろうな」「この反応には、こんな声掛けをしたいな」と普段の授業でも、よく考えることができるようになった。時には、想定した答えが返ってこないこともあるが、その度に、もっともっと勉強しようと思うようになった。

子どもたちとの日々の触れ合いは、私を自然と笑顔にさせ、教員になってよかったと感じさせてくれる。幸せな時間をもらっている分、私は子どもたちにより授業を提供しなければならぬと考えている。

笑顔にさせてくれるかわいい子どもたち、支えてくださる先生方の中で、素敵な時間を過ごすことができることに感謝しながら、これからも子どもたちのために努力し続けたい。

共に過ごす日々

桜区 神田小学校
教諭 奥川 真冬



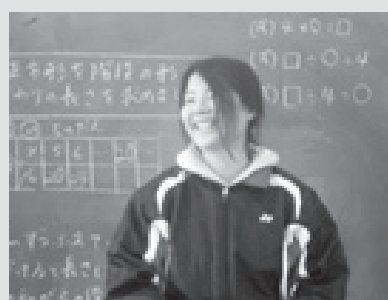
「子どもが好き」という気持ちや、恩師への憧れ、そして友達からの「教え方が分かりやすいね」という言葉で、私は教師を目指すようになった。

臨任経験を通して、子ども一人ひとりが全く違うこと、同じ日々は二度とないということ、日々を生きる子どもたちに対して常にそばで指導する責任があることを痛感した。

4月、新たな気持ちで臨んだ子どもたちとの顔合わせ、緊張や不安が大きかったが期待も大きかった。始業式が終わり教室に行くまでの間に話し掛けられたことでずいぶん不安が減った。

子どもたちと日々生活するなかで、「子どもは教師を映す鏡だ」「教師は役者だ」という言葉を実感している。教師が笑顔で自信をもっていれば子どもも笑顔でのびのびと生活できる。自分自身がどのような心境であれ、子どもの前ではいつも通りの「教師」、または自身の目指す「教師」であることを心掛けながらクラスを運営することが大切である。

1年間を振り返って、子どもと一緒に喜び、子どもと一緒に落ち



込み、私も子どもと一緒に成長した。子どものそばでその成長を見守り、手助けをする教師は本当にやりがいのある仕事だと思う。

この1年間本当に多くの方々に支えていただいた。声を掛け、指導をしていただいたおかげでこの1年を過ごすことができた。諸先輩方の教えを胸に抱き、常に子どもたちの指針となれる、そして頼れる教師となれるようにこれからも日々精進していきたい。